

FUKUOKA

きつと もつと これから。

シルバー だより

CONTENTS

特集 30周年記念	2
7区通信	8
就業先情報(博多区)	16
講習会案内/配分金単価の改定/紹介してください	17
会議開催状況	18
実績報告/事故発生状況	19
歴史散歩(西区)	20
互助会だより	21
事務局からのお知らせ/編集後記	裏表紙



猿田彦神社(早良区)

祭神の猿田彦は「古事記」によると天孫降臨の際にニギノミコトを道案内した神様です。猿は「去る」に通じて火難・盗難を防ぐとされています。普段は静かな境内ですが、年明けて最初の「初庚申」には、多くの猿面を求める人で賑わいます。境内では赤い手拭いでほっかむりしている猿が迎えてくれます。

写真提供: 高橋 勉(早良区)

30周年を祝して

理事長 鹿野 至



公益社団法人福岡市シルバー人材センターは昭和58年6月に社団法人として創立され、本年でめでたく30周年という節目の年を迎えることができました。

創立当時は726名であった会員数も現在は約7千人、受託件数も1,703件から現在では1万4千件と、当センターは順調に発展を遂げてまいりました。

これも偏に、地域をはじめ関係諸団体の皆様のご支援とご協力、そして、会員の皆様のご尽力の賜であり、深く感謝申し上げます。

さて、当センターの30年間の歴史で、もっとも大きな出来事の一つは平成24年4月1日の公益法人化です。当センターは長年にわたり「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」、「勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業」、「地域社会の健全な発展を目的とする事業」と、公益性の高い事業を実施してきており、このことから平成22年の通常総会で公益社団法人を目指すことを決議しました。

公益法人移行にあたっては、組織や事業運営のあり方、更には会計処理など、すべての面において福岡県の厳しい審査がなされ、審査時の指導内容に基づき必要な改正等を行いました。その結果、平成24年4月1日に公益社団法人として新たなスタートを切ることができたのです。

平成25年7月より、公益社団法人となったことも踏まえ、更なる地域貢献、社会貢献の実施を目指す、有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」を開始しました。この事業は、利用者である高齢者の方々には「日常の困り事を気軽に頼める」と喜んでいただき、会員の皆様には「社会貢献の機会がより広がる」と生きがいの増進になるものであり、大変有意義な事業です。この事業をきっかけに広く当センターを認知いただき一般の就業の受注にも繋がれば、という期待もされるところです。

最後になりましたが、当センターにおいては今後も引き続き、健康で労働能力のある会員が「社会の担い手」として地域社会において活躍できる機会の提供に努めるべく、就業開拓やボランティア事業への取り組みを行ってまいります。市民の皆様には、当センターの存在意義等をご理解いただき、当センターの活用とご支援、ご協力を、会員の皆様には当センター会員としてさらに積極的な地域貢献をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

高齢社会を支える重要な担い手として

福岡市長 高島 宗一郎



福岡市シルバー人材センター設立30周年を心からお慶び申し上げます。また、会員の皆様方には日頃から高齢者福祉をはじめ、福岡市政の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

貴センターは、昭和58年の設立以来、「自主・自立、共働・共助」の基本理念を掲げ、着実に事業実績を上げておられます。これはひとえに、歴代理事長をはじめ役職員並びに会員の皆様方のご尽力の賜と、深く敬意を表する次第であります。

さて、福岡市は、平成25年5月、政令指定都市では6番目に人口150万人を突破いたしました。全国的に人口減少が進む中で、人口が増え続ける魅力ある福岡市に発展しましたのは、ひとえに先輩方のおかげでございます。

本格的な高齢社会を迎え、皆様のような元気な方々が社会を支える重要な担い手として、地域社会で活躍されることがますます重要になります。このような中、貴センターにおかれましては、平成25年7月から、地域貢献・社会貢献を目的とした有償ボランティア「ワンコインお助け隊」事業を開始されました。行政では対応することが難しい高齢者のちょっとした作業やお困りごとに取り組んでいただき、大変感謝しております。

福岡市といたしましては、会員の皆様が主体的に、就業活動、ボランティア活動などに幅広くご参加いただけるよう、今後とも貴センターの運営を支援して参りたいと考えております。

貴センターにおかれましても、会員数の拡大に引き続き取り組まれますとともに、地域の特性やニーズにあった事業を積極的に展開していただくなど、センター活動の更なる充実を期待しております。

最後に、福岡市シルバー人材センターの今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

センター 30 年のあゆみ

昭和 58 年 7 月	事務所を福岡市社会福祉会館内(中央区大手門)に移転
昭和 58 年 12 月	「ふくおかシルバーだより」創刊
昭和 59 年 1 月	違反広告物除去作業を受託
昭和 60 年 2 月	会員のつどい開始
昭和 60 年 4 月	寺子屋教室開設
昭和 60 年 10 月	福岡市自転車駐車条例に基づく有料自転車駐車場管理業務を受託
昭和 61 年 11 月	開拓委員等による事業開拓開始
昭和 63 年度	事務局の事務処理をOA化
昭和 63 年 12 月	「安全対策委員会」設置
平成 元 年 3 月	創立5周年記念誌「シルバー人材センターのあゆみ」発刊
平成 元 年度	会員現況調査を実施
平成 元 年 10 月	東部支部、西部支部開設
平成 2 年度	1 会員 1 新入会員獲得運動推進
〃	会員厚生事業を充実 親睦旅行、ゲートボール大会、健康診断の助成等
平成 3 年 10 月	普及啓発活動月間に社会奉仕活動を実施 海の中道海岸を清掃
平成 4 年 3 月	資源回収器分別投入監視業務を受託 (現在も受託。「区役所・市民センター等資源物回収ボックス受付等業務」)
平成 4 年 4 月	中央部支部を専任体制へ
平成 4 年 10 月	優良シルバー人材センターとして (社)全国シルバー人材センター協会会長表彰を受賞
平成 5 年 5 月	シルバー互助会創設
平成 5 年 10 月	設立10周年記念式典挙行(於:南市民センター)
平成 6 年 1 月	会員作品展開催(於:NHK放送センター)
平成 6 年 3 月	10周年記念誌「ふくおか」発刊
平成 6 年 7 月	東支部開設
平成 7 年 4 月	南支部開設
平成 7 年 5 月	会員事務補助員制度を導入
平成 8 年 4 月	公園等除草作業を受託
平成 8 年 7 月	西支部開設
平成 8 年 9 月	博多支部開設
平成 9 年 5 月	シルバーどんたく隊参加
平成 10 年 1 月	本部事務所、中央支部、大手門から六本松へ事務所移転 中央支部は中央・城南支部へ、城南区・早良支部は早良支部へ改編
平成 11 年 7 月	事務局の事務処理(基幹事務)をオンライン稼働 安全就業促進大会を開催
〃	
平成 11 年 8 月	国の緊急雇用対策による就業開拓専門員を各区に配置
平成 11 年 10 月	シルバーフェスティバルを開催(警固公園)(参加会員320人)
平成 12 年 4 月	福岡市配食サービス事業(愛称 まごころランチ)受託
平成 12 年 10 月	シルバーフェスティバル2000開催(天神中央公園)
平成 13 年 8 月	ホームページ開設
平成 13 年 10 月	シルバーフェスティバル2001開催(RKBラジオまつり共催)(参加会員49人)
平成 15 年 3 月	本部・博多支部、千代町(現在地)へ移転
平成 15 年 4 月	会員の就業年限に関する基準施行
平成 15 年 5 月	福岡市シルバー人材センター創立20周年記念式典挙行
平成 16 年 3 月	20周年記念誌「あゆみ」発行
平成 21 年 1 月	設立25周年記念式典挙行(1/22 市民会館・出席者726人)
平成 22 年 4 月	福岡県シルバー人材センター連合会と提携し一般労働者派遣業務を開始
平成 22 年 5 月	独自事業「シルバーギャラリー」活動開始
平成 22 年 5 月	公益社団法人への移行について定時総会にて承認
平成 24 年 4 月	公益社団法人福岡市シルバー人材センターとなる
平成 25 年 7 月	有償ボランティア「ワンコインお助け隊」事業開始

設立 30 周年記念によせて



常務理事
松田 護

30 周年誠におめでとうございます。

全国にシルバー人材センターは約 1,300 団体、会員は約 75 万人を数えております。全国シルバー人材センター事業協会の調査によりますと、一般の元気な高齢者の医療費は 41.8 万円、一方シルバー会員の医療費は 35.8 万円で、シルバー会員の方が年間 6 万円少ないという結果が出ています。元気でかつ一定の就業をする効果がこのような形で示されています。

人は、ただ一人で個人的な目的を追求するよりも、隣人や知人の要望を満たすためや、仲間と一緒に社会の利益のために動いていると確信できる方がよほど嬉しく思うそうです。高齢者の生きがいは、自身の能力と経験、健康に応じた力を社会に提供することでしょう。家の中で得られないコミュニケーションの機会を得たり、人々から自らの存在を認められることは、自身の幸せにもつながります。

福岡市シルバー人材センターの会員一人一人の方々の生きがいを大事にし、そしてそれがセンター全体の活力につながるよう尽力してまいります。



東区委員長
石崎 哲夫

30 周年を迎えられたことは誠に喜ばしく、先輩各位や関係各位のご努力とご協力の賜物と深く感謝いたします。

少子高齢化社会となりセンターに対するニーズも高まっています。家事援助・育児支援・剪定・除草等々の受注に対応するために、会員の増加、特に女性会員のさらなる加入が待たれます。新事業の有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」も地域貢献活動として拡大していかなければなりません。さらに、センターの品質向上の為に技能講習や接遇研修は、継続した取り組みが必要です。今いる私たち会員が中長期計画を実践し検証しながら、市民に愛されるセンターとして益々発展するよう祈念いたします。



博多区委員長
倉岡洋一郎

福岡市シルバー人材センター設立 30 周年を心からお慶び申し上げます。

高齢者の「共働・共助」の精神と活力ある地域社会づくりの理念のもと、博多出張所は平成 8 年 9 月に開設し、当時の会員数は 473 名で、平成 26 年 1 月には 990 名と 2 倍に成長しました。これからも会員の加入を促進してまいります。ここ数年は公益社団法人認可へ向けて取り組んだ結果、就業先の減少で会員にとって厳しいものとなりました。今後は、健康と安全第一を基本に、適正就業・適正受注を推進し、会員の為の開かれた博多出張所となるように努力いたします。

終わりに会員各位のご健勝とご繁栄を祈念してお祝いの言葉とします。



中央区委員長
岩男 良二

設立 30 周年を迎えるにあたり心からお喜び申し上げます。

平成 2 年の 1 会員 1 新人会員獲得運動の推進や平成 4 年～平成 10 年にかけて 7 支部の開設等、事業の順調な発展が伺えました。しかし、センター発足 30 年、社会環境は大きく変化しました。65 歳までの継続雇用の義務化、センターの得意分野に民間業者の参入、補助金の減額等です。現在の低迷状況を打破するには、何よりも就業機会の拡大と会員数の拡大、スキルアップが重要だと考えます。全会員の共通課題として取組まなければならないと思います。

また、30 周年記念誌の発行では、昨年記念誌のゲラ刷りを見せて頂きました。設立時から今日に至る経緯やこれからの取り組み等が分かり易く構成され素晴らしい内容で、編成委員の皆様へ感謝と敬意を表します。



南区委員長
平田 信治

福岡市シルバー人材センター設立 30 周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。
私は平尾駐輪場に就業し、多くの仲間たちと苦楽を共にして参りました。急遽前委員長の辞任により、平成 25 年 1 月に南区委員長代行に選出され、その後総会で承認を受け、委員長になりました。

会員の集いで述べた「これからの南出張所のあり方」を今も変わらず肝に銘じています。一番大事なことは、南出張所は誰のものでもなく等しくみんなのものであり、会員全員がシルバーの仲間としての自覚を持ち、積極的に行動することです。明るく・楽しく生き甲斐と誇りを持って働くことができ、お互いに支えあっていく温かい南出張所になるように、これからも頑張っていきたいと思います。

長年培ってきた経験・知識・技能を全回転し、不撓有為の精神で皆さんと手を携えて参ります。



城南区委員長
永富 陽

このたび創立 30 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

設立以来、高齢者の生きがいと大いなる気力を与え続けてこられました。今後いっそう高齢化社会は続きます。仕事、趣味、旅行、催し事等で仲間を作り、楽しく、はつらつとした、豊かで、潤いのある生活を送るため会員との連携を強化し、『自主・自立、共働・共助』の精神の下、高齢者支援を図るシルバー人材センターの役割は、今後期待が大きくなる事でしょう。

30 周年を契機として、今後とも更なる発展を祈念いたします。



早良区委員長
五島 勲夫

センターは社団法人から平成 24 年に公益社団法人に移行しました。公益法人に移行するに当たり、職種の見直しで運転業務・宿直業務が廃止になり就業機会の減少、就業先軒数・契約金額の低下で大きな痛手を被りました。この状況を打開するには、本部・出張所・会員が一体となり 1 人でも多くの会員が就業できるよう就業機会拡大に努めなければなりません。それには、地域に密着した地域貢献・社会貢献を通してシルバーの存在価値を市民に周知して頂くことが大切だと思います。

会員同士が思いやりを持って、共働・共助の精神をもって健康で明るく笑顔のある環境作りを構築する必要があります。設立 30 年の経験を糧として、シルバー人材センターがますます発展することを祈願します。



西区委員長
城 千賀男

シルバー人材センターは 30 年という節目を迎えたわけですが、今我々があるのはセンターの『自主・自立、共働・共助』の基本理念を営々と培ってこられた役員及び会員の方々の努力の賜物と感謝する次第であります。

この 30 周年を機に我々はいかにしてこの「理念」のもとセンターをより発展させ、超高齢社会又厳しい経済状況の中で地域社会のニーズに応え、高齢者に働く喜びと生きがいを与え地域社会にシルバーの存在感を示し、かつ貢献するための事業運営をしていくかという事です。センターの理念を如実に語っているのは中長期計画の冒頭に掲げてあるスローガンではないかと思えます。“生き活きと輝いて生きたい 10 日就業・10 日ボランティア・10 日余暇（休養）これシルバーの生きがい”であります。

団塊の世代を含め高齢者は、定年退職するまで企業の中で戦士として懸命に働き、現在の社会を築き上げてきたわけですから。これから成熟社会をいかに生きていくかを考えた時、シルバー人材センターは世界に類を見ない素晴らしい組織（システム）だと思います。

このスローガンに一歩でも近づき実現するため、委員長理事、事務局、地域班長、職群班長、リーダー、会員が一丸となって知恵を出し事業運営をすることがこれからの我々に課せられた課題であると思えます。



専任理事
松尾 慎治

福岡市シルバー人材センターは設立されて 30 年、現在会員数 7,000 名を超える日本でも有数のシルバーに成長しています。

福岡市シルバー人材センターの最大の特徴は、『自主・自立、共働・共助』の理念の基に会員主体の運営がなされていることです。設立 30 年でここまでの組織を作りあげられた先輩諸氏の御苦勞には深く敬意を表したいと思えます。

現在、この財産を受け継いでいる我々は、一人一人がシルバーの仲間のために何が出来るかを考え行動し、より良いシルバーにしていく責任が有ります。

『30 周年』万歳！これからも会員の皆さん頑張らしましょう。



専任理事
樋口 章子

設立 30 周年を迎えたことを心よりお慶び申し上げます。この 30 年でセンターを取りまく環境は大きく変化しました。これからも地域社会においては、地域のニーズにあった貢献を求められると思います。私達一人一人が自信を持ち、地域社会の中で福祉サービス、家事援助サービス、子育て支援サービスの役割を果たしていくことが重要です。一般家庭といっても形態が多様化しているので、それぞれに合った支援が求められています。地域に役に立つ事で、会員の皆様がやりがいや生きがいを持てるように努めております。

女性会員の皆様、シルバーの発展に大きな輪を広げましょう。私達もお客様に感謝、自分の健康に感謝です。



専任理事
斎藤 茂材

福岡市シルバー人材センターが、30 周年を迎え今のように定着して活動できているのは、福岡市等関係機関のご支援と先輩方の大変なご苦勞、これを引継いできた多くの会員、それに事務局の皆さんの努力の結晶だと思えます。

私は公共関係の仕事を担当していますが、駐輪場に就業されている会員の皆様のお客様対応振りには常々頭が下がる思いです。朝の「お早うございます、行ってらっしゃい」夕方の「お帰りなさい、お疲れ様です」等のお客様への声掛けは、大好評です。これが正にシルバー会員の先輩から後輩へと引継がれた良き伝統の一例だと思えます。

どこの就業場所でも同じことだと思いますが、お客様から喜ばれる対応や仕事振りが、シルバーを気軽に利用していただけることに繋がると思えます。

これからも健康に留意し、チームの和を大切に明るく楽しく頑張っ、シルバーの益々の発展を目指しましょう。



専任理事
井上 伸正

30 周年おめでとうございます。人生で、30 才といえ、もっとも働き盛りを迎えたこととなります。これまでの 30 年間は、地域の方々のご協力、先輩会員の努力、福岡市をはじめとする諸団体のご支援を得て、現在の規模・実績・運営方法等で、全国でも他の目標となる立派な組織に育てていただいたと思っております。

50 周年、100 周年に向っては、今迄以上に地域の方々に密着して、幸せな生きがいのある地域作りに貢献しなければならないと思えます。私、個人といたしましても、健康が続く限り、センターと地域の発展に貢献したいと思っております。今からも福岡市シルバー人材センターが大きく発展することを心からお祈りいたします。



専任理事
桑野 孝春

公益社団法人福岡市シルバー人材センターの 30 周年という節目の年を迎えることができたことを全会員の皆様と共に喜びたいと思えます。又 30 周年記念誌の編集にあたり広報担当の一員として参加し、30 年間のあゆみを知ることができたことに感謝しております。

昭和 58 年設立以来、長きにわたり『自主・自立、共働・共助』の基本理念を掲げ、現在があるのは、歴代理事長、役職員並びに会員の皆様方のご尽力のおかげだと敬意を表します。

更に 35 年、40 年と歴史を重ねるにあたり、会員の皆様方におかれましては健康を第一にこれから先も地域に密着した就業活動やボランティア活動などに幅広くご参加していただければと希望するところです。



監事
岡崎 幸雄

福岡市シルバー人材センター設立 30 周年をお慶び申し上げます。

会員手帳の第一頁に「喜壽不足祝 傘賀未来春」大河内 と掲載されています。経済学者で社会政策を専攻された元東京大学総長の大河内一男さんは、シルバー人材センターの前身「東京都高齢者事業団」の初代会長をされました。その後「東京都高齢者事業団」をはじめ各地の趣旨や理念を同じくした団体が統一されて、昭和 50 年 2 月にシルバー人材センターの第一号として、東京江戸川区に誕生したと聞いております。

江戸川区での誕生から 5 年目に福岡市シルバー人材センターが誕生しました。設立以来「自主的・主体的」という組織理念と「共働・共助」の事業理念『自主・自立、共働・共助』は今も変わっておりません。

大河内先生の言葉を思い出し、会員仲間と補い合いながら、就業を通じ自分の健康の為にも、地域社会の要求に積極的に参加しようではありませんか。



博多区 尾崎 栄子

私は平成8年に、会員だった友人に誘われて入会しました。屋外が好きなので希望したのは除草で、初めから今もずっと除草一筋です。

仕事を受けたらまず下調べをします。就業中は休憩を適宜取りますが、のんびりせず、てきぱきと仕事を終わらせます。こうすることで、自分自身も仕事に張りがでますし、お客様からも喜ばれます。10年以上お付き合いのあるお客様もいます。お客様から喜ばれることがなにより仕事の励みになっています。

私が元気で就業を続けている秘訣は、毎日のラジオ体操かもしれません。朝早い時は、ラジオ持って外で体操をしたこともあります。今は熱中症もあるので、水を2Lとスポーツドリンクを持参して仕事に出かけます。また、除草の道具はみんなに驚かれるほど揃えています。下調べで根の張った草が生えているときは両手で使う大きな鎌を持っていきます。道具が合わないとい肩が痛くなったり体がこわったりするし、仕事の捗りぐあいにも影響するので、道具には気を遣っています。

またシルバーの他に、地域の高齢者のお世話や自治活動など地域の活動にも積極的に参加しています。

歌や踊りは昔から大好きで、以前は親睦旅行でカラオケを一番に披露していました。歌うと勝手に手が動き出します。互助会サークルのひょっとこ会にも参加しています。歌や踊りも健康の秘訣かもしれません。

就業は楽しいですし、生活に張りが出ます。今後も会員が生きがいを持つことができる福岡市シルバー人材センターであることを祈念いたします。

南区委員長時代を振り返って

南区 稲富 實



もう10年も前ですが、福岡市が施設管理に競争原理を取り入れました。そのためにシルバー人材センターが長年委託されていた市営駐輪場も、指定管理者制度が発足し、民間企業との競争となりました。

管理者制度は価格だけでなく、企業体質・サービス・高齢者雇用・安全対策など総合的に審査されます。前年の城南区に続き、平成17年度は早良区と南区が対象になりました。早良区はセンターに決定されましたが、南区は10数社が競合となり民間業者に決まり、センターは不採用となりました。当時、市営駐輪場就業会員100数名、会員数900名弱の南区には、5年間に亘る駐輪場の喪失は大きな痛手でした。

駐輪場管理は、私たち(センター)の委託が当たり前という安心感と、常日頃から市民の皆様へのサービスが欠如していたのではと猛反省しましたが時すでに遅でした。

その後、剪定・刈払・自動車運転を核に就業開拓に努め、事業実績減も僅少に留めることができました。

当時の事業目途も立ち、私は指定管理者不採用の責任を取り、委員長を1期で辞して、副委員長に後を託しました。その後も、市営駐輪場の指定管理者制度は、中央区、博多区、西区、東区と続き、明暗が繰り返されました。わが南区も駐輪場や職群会員にも就業への緊張感が醸成され、飛躍の契機をつかむために努力したのは間違いありませんでした。

入会6年目を迎えて今思うこと

西区 小林 文枝



十数年従事した福祉関係の仕事を63歳で退職し、趣味の「かつぼれ踊り」をしばらく楽しもうかなと思っていたところ、市政だよりでシルバー人材センターの存在を知りました。早速説明会を受けに行き、社会参加と生きがいづくりのためにと入会しました。

入会してからは、一般家庭の清掃や施設利用者の健康管理補助業務などの就業を経験し、その後西支部(現西出張所)の家事援助担当をすることになりました。仕事の内容は、お客様と会員のコーディネートや事務所窓口の対応、本部との連絡調整や会員の資質向上のための研修会の調整などです。接遇やコミュニケーション能力の大切さを痛感する毎日でした。会員の皆さんの協力もあり、3年間務めることができました。

また就業以外でも、互助会の親睦旅行や芸能大会、手芸サークル等に参加することで多くの仲間ができ、シルバーパワーの素晴らしさを実感しています。

ますます加速する高齢化社会の中で、シルバー人材センターの役割は大きいと感じています。周りの方々に感謝し、笑顔とやさしさを忘れず、親しみやすいシルバー人材センターとなるよう、できる限り関わっていきたくと思っています。

7 区通信

東

区

ひがしく

接遇研修会開催



11月25日(月)と12月6日(金)10時から、出張所会議室において民間就業の会員を対象とした接遇研修が行われました。

『笑顔で明るいあいさつを習得する』と題して、㈱ビジネスリファインの黒木尊子さんから講演と実践指導を頂きました。

「挨拶は社会生活の潤滑油です。仕事だけではなく毎日の生活においても欠かせないモノとして習得してください。明るく・さわやかに挨拶しましょう」。

駐輪場全体会議開催



12月3日(火)、16日(月)の2回に分けて東市民センターで駐輪場就業会員を対象とした全体会議が開催され、両日で131名の会員が出席しました。

石崎委員長の挨拶及びシルバー人材センター

の近況報告があり、斉藤理事からは駐輪場関係の全体の活動状況について、松尾理事からは事故報告と安全就業についての説明がありました。

東警察署交通課の小鶴警部補から道交法改正に伴う自転車の通行方法等の説明を受けました。

また、東区役所の江藤係長から市の自転車対策と駐輪場の対応について、手作り資料や画像による分かりやすい説明がありました。

最後に、本部の大守業務第1課長から駐輪場関係の連絡事項があり、盛況のうちに会は終了しました。

シルバー農園だより



11月下旬に大根・人参、12月中旬にじゃがいもの収穫を行いました。夏場の水不足のためか期待どおりの成果は得られませんでした、約40kgの収穫がありました。

春には、深ねぎ3500株・グリーンピース・そらまめ・にんにく・玉ねぎ1800玉などの収穫を予定しています。

役員会開催

12月20日(金)10時から出張所2階会議室において、地域班長29名と職群班長7名、出張所3名の出席で役員会が開催されました。

石崎委員長から東出張所の活動状況の報告と、2月に行われる正会員役員(東区委員長)候補選出について選挙管理委員会の選挙管理委員5名の紹介と選挙に至るまでの説明がありました。



広田副委員長からは事故発生状況として、「東出張所では昨年を下回っています、無事故を続けましょう」と注意喚起があり、民間関係接遇研修会の実施についても説明がありました。

東区年末の交通安全・地域安全キャンペーンに参加



12月11日（水）10時30分からイオン香椎浜において、東警察署・東福岡交通安全協会・東区役所等の主催による「東区年末の交通安全・地域安全キャンペーン」の決起集会がありました。東出張所からは、駐輪場就業会員他有志15名が参加しました。

剪定技能向上研修会開催



今年度から区ごとの開催となった剪定班技能向上研修会が、1月16日（木）に東区三苦の博多老人ホームで実施されました。

参加会員20名は、早朝8時に現場に集合し、朝礼後諸注意を受け、5つのグループ分かれて

計5本の松の剪定作業を行いました。

講師の藤村会員から「松の剪定について」の資料が配られ、グループごとに実技指導が行われました。

博多老人ホームの永野統括施設長からお礼の言葉をいただき、2時間余りの技能研修会を終了しました。

今回は、6月の松の芽摘みの時期に開催を予定しています。

広報委員 今林 隆雄

博多

区

はかたく

錦秋の親睦旅行



毎年恒例の親睦旅行は、遠賀郡岡垣町「ぶどうの樹・野々庵」をメインとして、前班・後班の2班に分けて開催されました。

前班の11月9日（土）は68名の参加があり、大型バス2台で午前9時に博多出張所を出発し、紅葉に染まりゆく晩秋を満喫できる旅行日和でした。

車中では「元気にしとったね」と、久しぶりに会う参加者の元気な笑い声に満ちていました。コース途中の「道の駅・宗像」で休憩し買い物を楽しんだ後、親睦会の会場「ぶどうの樹・野々庵」に向かいました。

今回は親睦会をゆっくり楽しめるように時間を取り、椅子式の会場で「野々庵自慢の和創作料理」を味わいながら、カラオケを交えて3時間ほどの親睦会は楽しい盛り上がりになりました。

帰路は「宗像大社」のお参りと散策後、17時頃に博多出張所に帰着しました。

後班の11月10日(日)は28名の参加を得て出発し、旅行コースは前班と同じで「楽しかった」と皆さんからご好評をいただきました。

参加者の皆さんは、「今年も親睦旅行に参加出来てよかった。来年も行こうね」とお友達同士で約束されていました。お元気で来年も参加していただくことを楽しみにしています。

親睦旅行には計96名の会員が参加していただき、種々ご協力もあって無事に終了したことに感謝いたします。旅行運営委員の皆さん御苦労さまでした。

「女性会員の集い」開催



11月18日(月)10時から長生園講堂で「女性会員の集い」が開催され、77名の会員が参加されました。

倉岡委員長は挨拶の中で出張所の現況や今後の課題について説明があり、併せて皆さんの協力をお願いする旨の話がありました。岡崎監事の挨拶に続いて、樋口理事は「健康と若返りの秘訣は、出張所の行事や講習会に参加し就業などで積極的に外に出る事です」と話されました。

講演では、大塚製薬(株)福岡支店の大田原美奈子講師をお招きし、「高齢者の水分補給」と「サプリメントの基礎知識」など健康に役立つ講話がありました。高齢者は水分不足になりやすいため、日常生活における水分補給の仕方や繊維野菜・緑黄野菜の摂取の必要性、またサプリメントは基礎知識を持っておくことが大事などの有意義な話でした。

この後、意見交換や質疑があり、お楽しみの演芸に移りました。昨年4月に発足した互助会サークル「ひょっとこ会」のメンバー12名による「日向ひょっとこ踊り」が披露されました。独特なお面と踊りに笑いと拍手の中、フィナーレは全員が共に踊って楽しい時間を過ごし、昼前に閉会しました。



博多区正会員役員の選出

平成26年5月に任期満了となる同役員(理事兼博多区委員長)の次期候補者を選出するため、12月17日に「選挙公示」が行われました。選挙公示は、シルバーだより12月号にも同封しています。

募集期間は1月16日から31日までで、2月17日に区役員による選挙または信任投票で選出されます。その後、5月にある定時総会で承認され、任期は2年間となります。



前回の投票風景

「会員の集い」のご案内

毎年開催されます「会員の集い」が、3月18日(火)午前10時から博多市民センターホール(山王公園)において開催されます。

今年はたくさんの会員が参加出来るように内容を充実しています。詳しくは案内チラシをご覧ください。会員の楽しみと親睦を深めるため、皆様のご参加をお待ちしています。

広報委員 松井 洋治

中央

区

ちゅうおうく

紅葉と秋の味覚 筑前の旅



互助会主催の親睦旅行が11月12日（火）、14日（木）の両日、85名が二班に分かれて参加し開催されました。当日は天候に恵まれ、バスはスケジュール通り高速道路を南下しました。

第1ステージは、小郡市文化財指定の松崎宿「はたごあぶらや旅籠油屋」歴史資料館に到着。地元ボランティアの方の案内で見学しました。建物は江戸後期に建てられ、薩摩街道の宿場として多くの旅人に利用されたそうです。

第2ステージは、楽しみにしていたキリンビール甘木工場を見学し、一番搾りで喉を潤し、目的地の筑前町花立山温泉で昼食とカラオケで会員相互の親睦が盛り上がり、時間を忘れるほどでした。

帰路、浮羽町本佛寺に立ち寄り、紅葉が美しい耳納の山々と田園風景に癒され、「JAにじ」の農産物直売所でお目当ての果物や野菜を両手にかかえ、予定通り無事に帰宅できました。

今回の親睦旅行を企画された幹事さんには大変お世話になり、ありがとうございました。



役員会開催



12月24日（火）午前10時から、役員会が開催されました。

役員会に先立ち、岩男委員長から選挙管理委員5名の紹介があり、承認されました。岩崎選挙管理委員長から配付された資料により中央区選出正会員役員立候補者の募集について説明があり、会員への案内はシルバーだより12月号に同封されていることが報告されました。

続いて、岩男委員長から配分金について4～11月累計の報告があり、「予算対比では目標を上回り、対前年比でも6年ぶりの上回りで推移しております。しかし、来期予算は一段と厳しい状況が予測されます。前回は申し上げましたが、新たな民間での就業開拓が当面の課題で、会員が一丸となって取り組むことが大切です。」と強調されました。

首藤安全担当からは、資料により事例をあげながら安全就業について説明がありました。

大槲就業開拓員は他県の事例とともに就業開拓の難しさを話し、全会員が一体となって活動しないとシルバー人材センターの存続の危機に立たされることを強調していました。

その他、今後の予定

1月28日（火） 女性会員のつどい

2月6日（木） 互助会芸能大会

2月21日（金） 次回役員会

以上報告の後、閉会しました。

広報委員 井手上 勉

南

区

みなみく

介護付有料老人ホーム野多目を表敬訪問 ～ コスモス会（手芸サークル）～

11月17日（日）午後2時より約1時間にわたって、コスモス会メンバー5名と西野互助会

業務委員は、介護付有料老人ホーム野多目を表敬訪問しました。老人ホーム野多目は国道385号線に面し、西鉄バス停野多目ランプ入口の傍にあり、収容人員100名の大規模な施設です。

コスモス会13名の心柄が相通じて、今回の訪問が叶えられました。「年末の寒さに耐えてもらいたい、入居される方に喜んで頂きたい」と何か月もかかって、ショールや帽子などを60数点完成させました。

大ホールに集まった入居者の方々に、生活相談担当者から「シルバー人材センター南出張所の皆さんがお見えになりました。後からプレゼントを頂きますよ」と紹介がありました。メンバーは、一人一人にやさしい激励の言葉を言って手渡しました。すると、車椅子から涙ぐみながら「ありがとうございました。大事に使います」とお礼を言われました。帰りの際、スタッフの方からも再度お礼と感謝の念を頂きました。



高齢者安全運転体験講習会に参加 (配食班・剪定班)

12月15日(日)午後1時から4時まで、福岡県自動車学校の安全講習会に7名(配食班3名と剪定班4名)の会員が参加しました。今年度は前回と合わせて12名の会員が受講しました。

まず、講師から「安全運転のしおり」に基づいて説明がありました。内容は平成24年度の福岡県の交通事故と事故の特徴などで、特に力説されたのは高齢者の交通事故の防止でした。講義後、指導員による路上運転の安全性の実技と事故体験(シートベルト着用)が個別に実施されました。状況の変化に対する反応の速さと正確さ、反応のむら、ハンドル操作などのチェッ



クを受け、運転能力を5段階で評価されました。

忘れてならないことは、加齢とともに視覚機能や聴覚機能、身体能力に変化がみられるということです。若い頃と同じように運転できるという過信は禁物です。常に体調を整え、余裕を持ち急がない運転を心がけ、自己の運転能力の長短を肝に銘じて就業されることを祈念します。

第6回役員会開催

12月20日(金)午後2時より南出張所会議室において、平田委員長、江頭・實藤両副委員長、西野互助会業務委員、職群班長、地域班長等27名が出席して行われました。要約しますと下記の通りです。

平田委員長より「総務部会・理事会・合同部会」の報告がありました。また、事故ゼロを目指してきましたが、今年度10件の事故が発生したことは残念です。役員の方々にも力添えをいただき、安全担当と一体になり事故ゼロを目指していきたいと強く話されました。

1) 南区の事業実績状況(H25.11月現在)

配分金実績は、前年比98.9%でした。

会員数は1,127人(男性731人・女性396人)で、新入会員は18人(男性9人・女性9人)、退会会員は2人(男性1人・女性1人)、入会会員が大幅に増加しています。

2) 事故関係(H25.12月末現在)

南区では、傷害事故3件、賠償事故3件、自動車事故4件でした。

3) 「ワンコインお助け隊」の経過報告

徐々に増加しています。10月は19件、11月は34件でした。お助け隊員不足の校区がありますので、参加をお願いします。

4) 女性会員の集い

2月14日(金) 13:30～16:00 2F会議室
講演 「健康で長生きのためのテクニック」

那珂川病院 古賀善彦先生

5) 出張所スタッフ交代(公共・駐輪場担当)

安村功雄会員から前畑康夫会員へ交代しました。1月6日(月)から就業開始です。

6) パソコン教室の開催

毎週水曜日(祝祭日休み) 13:00～15:00
南出張所2F会議室

入門からのパソコン教室ですので、気楽においでください。シルバー会員は月額3,500円、非会員は月額4,000円です。詳細は南出張所(實藤担当)に連絡ください。

7) H25年度の日帰り親睦旅行の会計報告があり、承認されました。

〈審議事項〉

1) 南区選挙管理委員の選出について

三浦薫会員・江口一会員・矢口彰英会員・加藤和子会員・市川和子会員の5名が選挙管理委員に選ばれ、役員会で承認されました。なお、選挙管理委員長は互選により選ばれ、役員会で承認される予定です。



2) 地域班長の交代について

筑紫丘地区は、(旧)滝本栄次会員から(新)青田秀夫会員に、鶴田地区は、(旧)橋本正会員から(新)藤井初洋会員に交代になり、役員会で承認されました。なお、今後期間6年を迎える地域班長は、日佐の村口光子会員と弥永西の前田浅松会員がH26.3月迄、三宅②の吉田信行会員がH26.5月迄となります。

最後に、「会員の集い」は3月です。ぜひ出席されるようお願いがあり、役員会が終了しました。

広報委員 高濱 一郎

城南

区

じょうなんく

「女性会員のつどい」開催



平成25年度「女性会員のつどい」が1月17日(金)午前10時から会員54名が参加して中村学園大学食育館6階で開催されました。

1、永富委員長挨拶及び報告

冒頭、永富委員長は「従来、『女性会員のつどい』は主に城南市民センターで開催していましたが、今回は気分を変え、視点を変えて会員の就業先でもある中村学園大学とタイアップして開催することになりました。今後、このような新たな試みを続けていきたいと思っています。今日は学生時代に戻った気分で楽しんでください」と挨拶しました。

次いで、城南区における女性会員の入会状況や就業状況、平成25年に開催した主な行事及び今後の行事などが次の通り報告されました。

(1) 現状報告

◎平成25年11月末での女性会員は249名

◎同時点での女性会員の就業率は74.7%

◎女性会員の年齢別の分布

・60歳～64歳…40名

・65歳～69歳…97名

・70歳以上…112名

なお、女性会員数の推移は次の通りです。

平成10年度…92名(年度末)

平成15年度…142名(同)

平成20年度…211名(同)

平成25年度…249名(平成25年11月末)

(2) 平成25年に開催した主な行事

◎地域懇談会…9月から11月にかけて6回、城南区内の6公民館で開催しました。参加者の総数は87名です。今後は地域班長と協力して、

より多くの会員が参加するような地域懇談会にしたいと思っています。

◎会員親睦旅行…11月12日及び13日に日田を散策しました。参加者は両日合せて84名と盛況でした。

◎ふれあい城南フェスティバルのパレードへ参加…初の試みとして、同フェスティバルに参加しました。参加会員も48名に上り、好評でした。

(3) 今後開催する主な行事

◎会員のつどい…3月12日(水)午前10時から城南市民センターで開催されます。なお、今回の講演は「天才軍師黒田官兵衛～この男がいなければ豊臣秀吉の天下はなかった～」です。

多くの会員の参加を期待しています。

2、その他の報告等

(1) 徳永安全・適正就業担当による事故状況の報告

平成25年4月1日から12月末までに城南区で起きた事故は次の通りです。

◎傷害事故…3件 ◎損害賠償事故…2件

その他に保険が適用されない事故が1件報告されました。これは剪定作業中に足元の安全確保のため、発注者の承諾を得ずに樹木を伐採したというものです。(注：樹木の伐採は損害賠償保険の適用外で自己責任となります)。

(2) 金子就業開拓員から就業開拓への協力依頼及び平成25年4月に就任した徳永副委員長の挨拶

3、講演



「講演中の寺澤洋子先生」

中村学園大学食物栄養学科の教授である寺澤洋子氏による講演「高齢者の食育～楽しく食べて・アンチエイジング!～」が行われました。心身が健康であるために、家族が一堂に会して栄養バランスのとれた食事をとることの重要性などがスライドを使って分かりやすく説明され

ました。テーマが身近な、それでいて大切な「食」とあって参加者は熱心に耳を傾けていました。

広報委員 藤 勇三

早良

区

さわらく

朝倉路への親睦旅行



今年度の親睦旅行は11月12日(火)・14日(木)・15日(金)の3日間に、総員132人が参加して朝倉路を周りました。

3日間とも天気に恵まれ、8時に出張所を出発して都市高速から大分道経由して朝倉ICで下りて、先ず「にじの耳納の里」に立ち寄りしました。ここの直売所「まんてん市場」では朝採りの新鮮な農作物が売られていました。

次に大刀洗平和祈念館に立ち寄りしました。ここは西日本における陸軍の航空拠点であった大刀洗飛行場について解り易く紹介されていました。続いて近くにある緑に囲まれた北部九州最大級の「花立山温泉」で、入浴と食事を楽しみました。又、「キリンビアパーク福岡」ではブルワリー・ツアーガイドの案内で製造工程を見学した後、出来立てのビールを試飲しました。

帰途、秋月を訪れて城跡・長屋門・黒門・垂裕神社等を散策しました。紅葉の名所ですが、残念ながら色付き始めの状態でした。夕方、出



張所に戻り、充実した日帰り旅行で会員の皆さんは満足していました。

「交通安全教室」開催



11月15日(金)の10時から早良市民センターで会員95名が参加して、加藤安全担当の司会進行で平成25年度「交通安全教室」が開催されました。

まず、五島委員長から事業推進状況の説明がありました。

次に、本部業務第2課の吉田職員から「自転車事故が増えています。事故防止には一人ひとりの心掛けが必要です」との話がありました。

続いて、加藤安全担当からは事故の状況について報告がありました。

休憩を挟んで、早良警察署交通課の宗係長から『高齢者の事故防止と自転車の事故防止』について講演がありました。

高齢者の事故を防止するために、①横断歩道外の横断②見通しの悪い場所などでの横断③信号を無視しての横断は危険なので避け、夜間の外出は目立つ服装や反射材の着用を心掛けてくださいとのことでした。

自転車事故を防止するために、①自転車は“車両”、車道走行が原則(歩道走行は例外)②車道では左側走行③歩道では車道寄りを徐行(歩行者優先)など具体的な説明がありました。

又、早良警察署が創ったスローガンが披露されました。

さ…さっと降りてバック誘導
わ…わき見運転厳禁、交差点注意
ら…ライトは早めに点灯



し…出発の場合は左右前後を確認
よ…横に乗ったら安全呼称
最後に、安全歩行のために「リストバンド」が出席者に配付されました。

広報委員 高橋 勉

西

区

にしく

役員会開催



12月20日(金)に西出張所大会議室において、地域班長や職群班長など30名を集め、役員会が開催されました。

瀧川副委員長の司会で始まり、城委員長から25年度上半期の事業実績の報告がありました。内容は「事業実績は前年比109%と順調に推移しています。安全・適正就業については、鈴川担当の並々なぬ努力もあり、安全かつ適正な就業が行われています」ということでした。

続いて城委員長から、平成25年度発注者満足度調査結果報告、町名変更に伴う新住所届け出の依頼、接遇研修会の案内がありました。中でも発注者満足度調査は、西出張所の具体的な事例を挙げて報告があり、接遇研修会は「就業する上で必要ですので、是非ご参加ください」と参加への強い呼びかけがありました。

会議はその後、西区選出正会員役員選挙、選挙管理委員の選出と承認、シルバーだよりの配付と続き、安全・適正就業と就業開拓についてはそれぞれの担当から報告がありました。

最後に、承認を受けた選挙管理委員の紹介があり、会は終了しました。

新入会員研修会開催



12月26日（木曜日）西出張所大会議室において、新入会員を集め新入会員研修会がありました。これは月1回、新入会員を対象に行われる研修会です。

瀧川副委員長の司会で始まり、城委員長から駐輪場など主な就業先の説明がありました。次いで、西出張所のスタッフが座席表に従って紹

介され、担当役割など詳しく説明されました。

次に、「シルバー人材センター会員のしおり」を基にテーマごとに学習しました。中でも安全かつ適正に就業するためのテーマでは、『安全心得10か条』を朗読し、安全・適正就業の大切さを確認し合いました。

その後、有償ボランティア事業「ワンコインお助け隊」の事業説明と参加の呼びかけ、普及啓発活動、互助会の活動などの説明がありました。皆さん熱心に耳を傾けていました。参加した新入会員からも「以前センターを利用したことがあります、丁寧な仕事ぶりに感動しました」、「近辺に老健施設が建設中です、是非就業開拓してください」といった活発な意見がありました。

最後に、就業報告書の提出期限や記入方法などの説明があり、新入会研修会は終了しました。

広報委員 塚原 義紀

博多区

はかたく

就業先情報



せんしゅう

泉州電業（株）福岡支店・福岡加工センター様



博多区吉塚8丁目にある泉州電業（株）福岡加工センターを訪問し、松山製品課長にお話を伺いました。

「泉州電業(株)は昭和24年11月に設立され、本社は大阪市北区にあり国内・海外に支店を設置しています。営業品目は電線の専門商社として機器用電線・通信用電線・電力用ケーブル等の電線類及び各種電設資材の代理店販売をしています。また、情報処理システムの開発や各種情報機器の販売も行っています。

福岡加工センターではお客様のニーズに応じて、電線の端末に部品を付けるなど一部加

工して独自の製品として販売しています。

こうした各種製品の検査が終わった段階で、商品の包装・梱包や伝票貼付の仕事が忙しくなり、シルバー人材センターに問い合わせたところ対応が可能とのこと、昨年11月からお願いすることになりました。

現在、会員5名をグループとして毎日2名が交替で就業されています。今のところ作業に問題はありません。仮に会員さんが休まれても、別の会員さんが代替して頂けるので安心です」と丁寧に説明して頂きました。

泉州電業(株)は社会基盤を支える電線の専門商社であり、電線を核とした技術商社として或いは情報処理システムの開発など総合力を目指している会社でした。

広報委員 松井 洋治

刈払除草の講習会(座学)を3月に開催します

日 時: 平成26年3月6日(木) 13:30~16:00
 場 所: 本部1階 博多会議室(博多区千代1-21-16)
 ◎参加希望者は平成26年2月28日(金)までに
 各出張所の担当者にお申込みください。

(※内容は2月18日(火)に開催した講習会と同じです。)



消費税引き上げに伴う 配分金単価の改定について



平成26年4月から消費税率が5%から8%に引き上げられます。
 配分金には消費税が含まれているため、消費税の引き上げに伴い、4月以降の就業に対する配分金の単価は、増額改定を行うこととしています。
 詳しくは、所属の出張所までお問い合わせください。

お友達やご近所の方に、 シルバー人材センターを紹介して ください!

お近くにこんな方はいませんか?



ボランティアに興味がある…

「ワンコインお助け隊」に参加して、近くの高齢者のお手伝いをしませんか。



共通の趣味の仲間がほしい…

センターには同世代の仲間がたくさんいます。親睦旅行・ハイキングなどの行事やサークル活動に参加して、お友達を増やしませんか。



働く意欲はあるけど、どうしていいかわからない…

あなたの豊富な経験と技能をシルバー人材センターで活かしてみませんか!
 福岡市内に在住の働く意欲のある60歳以上の方ならどなたでも入会することができます。まずはお住まいの区の説明会にご参加ください。



平成25年度会議開催状況(12月~1月)

●理事会

回	開催月日	議案
10	12月25日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会 ・消費税増税に伴う配分金見積基準の改定
11	1月22日(水)	・シルバー人材センター正会員の入会

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
9	12月18日(水)	・未収金対策 ・消費税増税に伴う配分金見積基準の改定
10	1月15日(水)	・未収金対策 ・就業開拓のあり方(案)

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
9	12月20日(金)	・業務部会の取り組み状況 ・消費税増税に伴う配分金見積基準の改定
10	1月17日(金)	・業務部会の取り組み状況 ・就業開拓のあり方(案)

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
8	12月25日(水)	・平成25年度第9回「総務部会」及び第9回「業務部会」の報告 ・平成25年度11月「事業実績」
9	1月22日(水)	・平成25年度第10回「総務部会」及び第10回「業務部会」の報告 ・平成25年度12月「事業実績」 ・平成26年度事業計画(案) ・平成26年度収支予算(案)

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
9	12月18日(水)	・事故状況 ・審議事項
10	1月15日(水)	・事故状況 ・審議事項

壱岐神社



御祭神 壱岐直真根子
 御神徳 仁愛開運
 例 祭
 夏祭り（7月28日）
 八朔祭り（9月1日）
 秋祭り（10月15日）
 （住所）福岡県福岡市西区生の松原1丁目9-3

壱岐神社には鳥居が3つあります。なかでも海岸に建つ一の鳥居は、目の前に能古島が見えます。生の松原の右側の岬は妙見崎で、岬の根元に小戸

があります。神功皇后が出港した湊です。ここからわずか2キロ。この距離からすると当時湊を支配していたのは壱岐直真根子でしょうか？

伝承ではこれ以上分かりません。永井功氏の「神功皇后の戦略」を見てみると、姪浜町の鷺尾山（蒙古襲来以後北條氏が築いた鷺尾城跡があり現在の愛宕山）の東側裏山に、武内宿禰の出城があったという言い伝えがあるようです。

いずれにしろ壱岐神社の一の鳥居から海を眺めると、幾多の歴史の足跡を感じさせてくれます。

壱岐神社は、生の松原いき まつばらに鎮座する神社です。参道は約400mもあり、海岸の鳥居から一直線に旧国道202号線、生の松原を抜けて社殿へと続きます。

生の松原は、福岡市西区の海岸に広がる松林です。夏は海の家も建ち、海水浴客でにぎわう海岸です。

神功皇后じんぐうこうごうが松の枝を逆さにさして戦勝を祈ったところ、松の枝が根つき、生き返ったという逆松（さかさまつ）の伝説にちなんで「生の松原」と名付けられたといわれています。

御祭神の壱岐直真根子は、壱岐島（いきのしま）の豪族、壱岐直の祖です。

壱岐直真根子は、応神天皇の大臣であった武内宿禰たけうちのみすくねの身代わりとなり、無実の罪で亡くなりました。やがて無実であることがわかり、ここに祀られることになりました。



広報委員 塚原 義紀

互助会だより

26年度ヤフオクドーム 野球チケットの購入と負担金についてお知らせ



平成26年度の野球チケットの購入については、互助会予算の逼迫により、**S指定席2席**を購入することになりました。
配付にあたっては、当選者は観戦チケット引き換え時に
1席500円をご負担いただき、引き換えていただく事となります。
よろしくお願い申し上げます。



ハイキング報告



歩きやすい桜道コースで、アイランドパーク入口まで約3km歩きました。博多湾の海風を感じながら歩を進めます。皆様が思い思いで楽しそうに歩いてる姿を見、ハイキングの実施の手ごたえを強く感じました。目的地のアイランドパーク入口でお弁当を渡し、その後自由解散となりました。アイランドパークの入園料が特別価格（700円）になったこともあり、

平成 25 年 10 月 17 日（木）に能古島ハイキングを実施しました。今年度は、5年ぶりにハイキングを互助会の行事として計画し実行しました。5年前は120名ほどの参加でしたが、今回は173名もの参加があったことは、互助会業務委員として大変うれしく思います。

台風の影響が心配された当日は天気も良くなり、能古渡船場に9時30分に集合しました。石崎会長の開催の挨拶のあと、出張所ごとに記念写真を撮り、乗船しました。今回は臨時便をチャーターして出港です。能古島到着後、荒木代表幹事からの挨拶や諸注意があり、11時10分に順にスタートしました。

参加者の75%は入場し、園内でコスモスやサルビアなどの花を愛でたり、博多湾や志賀島などの眺めを楽しんでいました。

最後に、参加された皆様のご協力により、事故もなく楽しいハイキングができたことに感謝します。また、乗船まで長時間お待たせした事やハイキング中に休憩時間がなかった事などご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

城南区互助会業務委員 神園 久

※記念写真が必要な方は、各出張所の互助会業務委員にご連絡ください。



平成25年度 芸能大会報告



平成25年度互助会最後行事である「芸能大会」が、2月6日(木)に福岡市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)で開催されました。

一段とパワー・アップされた声量で、最新のヒット曲から懐メロのカラオケ、艶やかな日舞・剣舞・太極拳、枯れた技のマジックありと日頃の練習・鍛錬の成果を十分発揮されました。

今年は、「活弁」「銭太鼓(安来節)」と目新しい演目があり、特に「博多にわか」は、大いに観客を沸かし、最終演目の「日向のひょっとこ踊り」は最高の盛り上がりでした。

会員の皆様の多種・多芸ぶりを再発見した楽しい一日でした。

皆様方の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

西区互助会業務委員 鈴川 幸典





●俳句の会「鴻臚」

会長 大津 英世

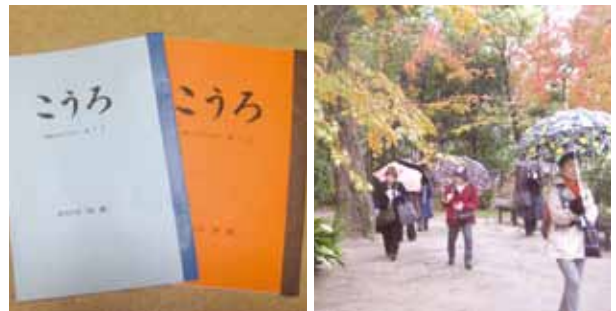
平成 18 年 9 月、俳句を通じて会員相互の親睦と教養の向上を図り、精神的に豊かな生活を目指すことを目的に、俳句の会「鴻臚」を発足致しました。

本会は季語と五七五の定型を重んじる伝統俳句を目指しています。現在会員は 13 名で、毎月一回の例会と年二回の吟行を行っており、相互に研鑽しながら俳句を嗜んでいます。

また、会員手作りの合同句集「こうろ」も作成し、この秋で第 7 号を数えました。

俳句には体力は要りません。これからも俳句の会「鴻臚」を通じて人生を楽しんで参りたいと思います。入会希望者はお申し出ください。

シルバーの明日を明るく冬本の芽
英世



●遊友会

幹事 富永 重信

遊友会は、会員 24 名により年 4 回のゴルフコンペを開催しています。

ゴルフは、心・技・体が求められるデリケートなスポーツです。我々は楽しく遊び、健康づくりに、また親睦を深めることが目的であります。

22 名が参加した 9 月のコンペでは、スコアを競うより、右に行ったり左に行ったり駆け回ったりと、健康を競うコンペとなりました。楽しかったです。

皆さんも野外に出て体を動かし、健康にこれからの人生を楽しみましょう。
ゴルフをされている方は、技術的なことは気にしないで是非参加してみてください。友人が沢山できますよ。



退会をお考えの方へ

退会をするためには、「退会届」の提出が必要になります。

退会をご希望の方は、**必ず平成26年3月31日までに所属の出張所で**退会の手続きを済ませてください。平成26年4月1日時点で会員資格をお持ちの方は、平成26年度会費納入の対象となり、会費の口座振替が行われますので、ご注意ください。

各出張所のお問い合わせ先	
南出張所 〒815-0033 南区大橋3丁目17-3 電話番号：092-551-4680	東出張所 〒812-0061 東区筥松2丁目1-27 電話番号：092-624-4680
城南出張所 〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27 電話番号：092-526-4681	博多出張所 〒812-0044 博多区千代1丁目21-16 電話番号：092-633-4680
早良出張所 〒814-0006 早良区百道2丁目1-35 電話番号：092-821-4680	中央出張所 〒810-0022 中央区薬院4丁目1-27 電話番号：092-526-4680
西出張所 〒819-0002 西区姪の浜4丁目8-28 電話番号：092-881-4680	

新しい会員手帳を配付します

定款をはじめとする諸規程が改正されたことに伴い、会員の皆様全員を対象に新しい会員手帳を配付いたします。

今回のシルバーだより2月号に同封しておりますので、ご確認ください。

また、現在お持ちの会員手帳は、各自で処分をお願いいたします。



年の始めに、真新しいカレンダーをめくりながら、内外はもとより、シルバー人材センターにとってどのような年になるのか期待と不安が錯綜します。「どんな年にしたいか」と考えますと、まずは会員が健康で活力あふれ、地域社会に貢献できることだと思います。

広報委員は、先人が築き上げたシルバー人材センターの芽を確実に育てるためにも、会員皆様と共に老人馬力で勇気と感動を与える広報誌にしたいと思いますので、ご支援とご協力をお願いいたします。(T.I)

「ふくおかシルバーだより」 発行元／公益社団法人 福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16

TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000

HP <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org